



●2階まで見事に伸びたゴーヤ



●受賞を喜ぶ1年生の生徒たち



●園舎の前面につくられた緑のカーテン



●中心になって世話をした園児たち

伊 良湖岬中学校でゴーヤの栽培を始めたのは3年前からです。毎年、栽培方法について工夫を重ね、今年度は1年生と先生が中心となり、ゴーヤの世話をしました。教室に光を取り入れるため、ツルの密集を防いだり、2階まで伸びるよう支柱を立てたりするなど、これまでの経験を生かしてすばらしい緑のカーテンを作ることになりました。生徒たちは、楽しく水やりなどに取り組み、環境学習の一助にもなりました。来年度もチャレンジして、最優秀賞を狙いたいと意気込んでいます。

赤 羽根保育園では、園児が保育士と一緒に、苗植えから水やり、ゴーヤの収穫まで行いました。緑のカーテンの木陰は風も涼しく、お茶タイムにはテラスでおやつを食べべて楽しみました。また、昨年度に収穫しておいたゴーヤの種をまき、園で苗も育成しました。保護者に苗を配布する「緑のカーテンリレー」も行い、赤羽根保育園から地域へと「緑の輪」が広がっています。緑のカーテン事業は、節電効果だけでなく、園児たちが地球温暖化防止について学ぶ、よい機会となりました。



投稿

「緑のカーテンコンテスト」

伊良湖岬中学校・赤羽根保育園

平成23年12月15日に開催された愛知県主催の「あいち緑のカーテンコンテスト」表彰式で、伊良湖岬中学校が昨年度に引き続き最優秀賞を、赤羽根保育園が優秀賞を受賞しました。

投稿

避難所宿泊体験

田原中部小学校

田

原中部小学校で、12月2日(金)・3日(土)に、4年生の児童67名が「災害時の避難所宿泊体験」を行いました。これは、災害時の避難所暮らしを想定し、寝床や食事の準備などを助け合って行う1泊2日の学習活動です。食事は非常食、ベッドはダンボールという暮らしを体験した児童たちは、「避難所での生活はとても厳しい。お互いに協力しないと何もしない」などと感想を話していました。



▲体育館で寝起きをともにした児童たち。ダンボールで布団を敷くためのスペースを確保したり、市販のダンボール製のベッドなどの組み立て方を学んだりしました



◎広報サポーター「めだか」ツイッターなう♪

●ID「Koho Tahara」 ●ツイッターアドレス <http://twitter.com/#!/KohoTahara>